



並木中等story

令和3年11月1日号

中高校生は悩みがあって当たり前！



「私は悩みが多い。小学生の頃はそんなに悩みはなかったのに。」と思っている人は多いのではないですか。実は、青年期、中高校生の頃になると小学生の時より悩みは増えるものなのです。それはなぜか。皆さんが成長して、他の人のことや世の中のことをよく観察すると共に、考えるようになるからです。悩みは成長している証なのです。新たな事実・情報を得ると、それを頭の中で整理します。簡単に整理し納得できるものもあれば、“納得できない”ものも出てきます。そのようなものが悩みとして残ります。また、人は一人一人考えや思いが異なります。小学生の時は気にしなかった親友との関係も、考え方の違いからぎくしゃくすることが起こります。そのようなこともあり、中高校生は悩みや戸惑いが多いのです。

では、どのようにしたらよいか。まず、この悩みは成長の過程で必要なものと理解してください。この悩みを乗り越えることを通して、自分の考え(生き方)が確立していくと思ってください。避けてしまうと、考えを確立する時期が遅れます。悩みと上手に付き合っ
てあげてください。悩み疲れたら、信頼できる誰かに話をするようにしてください。

《祝！科学の甲子園ジュニア県大会県知事賞》

令和3年度茨城県サイエンスキッズ育成事業「科学の甲子園ジュニア茨城県大会」において、本校楓チームが優勝に当たる県知事賞を受賞し、全国大会進出を勝ち取りました。また、チームZも県教育長賞を受賞しました。

おめでとうございます。